

対馬近海の油汚染の状況



油が付着して死亡した海鳥

対馬の近海に毎年油が漂着して、海鳥が被害を受けていることをご存知ですか？

対馬市、長崎県、対馬野生生物保護センター、対馬野鳥の会、市民ボランティア等では、対馬近海での油の漂着や海鳥の油汚染被害状況を調査しています。

調査結果

・毎年1～3月、とくに北西の季節風による強風や時化の後に被害が発生する
 ・海鳥の油汚染は、アビ類がとくに多い
 ・海鳥の油汚染は全島的に見られるが、西海岸にとくに多い
 ・油の塊や、オイル缶などは西海岸に漂着する
 ・油の種類はC重油
 ・毎年冬に対馬近海で被害が発生する理由は以下のように推測されています。

- ・廃油などの不法投棄
 - ・船舶事故による油の流出
 - ・漂着したオイル缶の破裂による油の流出
 - ・沈没船からの油の流出
- 油汚染の被害は、海鳥が死亡する

過去の油汚染の状況

	平成17年度	平成18年度
油汚染鳥の目撃	27	19
" 保護	25	0
" 死体	62	10
油類の漂着	11(海岸数)	33(漂着個数)



漂着した缶から漏れる油

油の漂着や汚染された海鳥などを発見したら、
 対馬市観光交流課自然共生班(玖須・築城) 0920(53)6111または
 対馬野生生物保護センター(大谷) 0920(84)5577まで連絡下さい。
 また、海に廃油を捨てることは禁止されています。

市民シンポジウム

「あ、つながってる！～私たちのくらしとヤマネコ～」開催

主催：対馬市・長崎県・環境省

対馬で、どうやってこの自然を残し、活かしていけるのか。対馬が元気になる、自然と共に生きる暮らし方をみんなで考えてみませんか。

開催日時：3月23日(日)
 13:30～16:00(開場13:00)

会場：上県地区公民館(佐須奈)
 巖原～佐須奈間(国道)は無料送迎バスも運行します。
 (要申込。対馬野生生物保護センター見学付き)

1. 基調講演 千石正一さん(財)自然環境研究センター研究主幹
 図鑑、学术论文などの幅広い執筆活動のかたわらテレビなどにも出演、活躍中。



2. パネルディスカッション
 対馬の自然を残し、活かし、元気にくらすために、市民ができることを一緒に語りませんか。また、あわせて対馬の自然の写真展・対馬で活躍する市民団体の活動紹介など、各種イベントも開催します。

【問い合わせ・送迎バス申込み】
 対馬野生生物保護センター 0920(84)5577



避妊去勢 マイクロチップ
 寄生虫検査 ワクチン接種
 ウイルス検査の5項目を無料で実施します。
 【申込み・問い合わせ】 市役所市民課
 又は観光交流課 0920(53)6111
 又は各支所地域振興課まで